

# 飯 尾 潤 教授

---

役 職：政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター、公共政策プログラム・副ディレクター、2001年行政改革の検証プロジェクト・リーダー、教授

専門分野：政治学

学 位：博士（法学）（東京大学）

略 歴：1986年東京大学法学部卒、92年同大学院法学政治学研究科博士課程修了、同年埼玉大学大学院政策科学研究科専任講師、93年同助教授、97年本学助教授、2000年本学教授（現在に至る）。01-02年ハーバード大学客員研究員として滞米。09-11年本学副学長。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 雑誌論文（単著）

- \* 飯尾潤「政治家の『実像』追求と指導力」、飯尾潤・苅部直・牧原出編著『政治を生きる：歴史と現代の透視図』（中央公論新報社、2012年）3-34頁、269-272頁
- \* 飯尾潤「東日本大震災からの復興と地方自治」『地方自治』（地方自治制度研究会）772号2-18頁、2012年

### (2) 図 書（編・共著等）

- \* 飯尾潤・苅部直・牧原出編著『政治を生きる：歴史と現代の透視図』全299頁（中央公論新報社、2012年）

### (3) 学会発表

- \* 飯尾潤「東日本大震災の復興構想と政策提言」日本公共政策学会関西支部、2011年12月3日(関西大学社会安全学部)

## 2. 業 績 (B)

書評・解説等

- \* 飯尾潤(第2部第4章)「内閣・官僚制：統治能力の向上問われる」佐々木毅・清水真人編著『ゼミナール現代日本政治』日本経済新聞出版社、2011年、372-419頁
- \* 飯尾潤「震災復興と『減災』原則：専門家と住民の対話による復興」『河川』（日本河川協会）2012年3月号、3-5頁

## 3. 助成金による研究

- \* 科学研究費補助金（基盤研究(A)）「21世紀型統治システムへの転換：主要国の政治意思決定構造の比較研究」研究分担者
- \* 科学研究費補助金（基盤研究(B)）「わが国における政策分析と政策過程についての比較政策分析学的研究」研究分担者
- \* 科学研究費補助金（基盤研究(B)）「民営化の戦後政治史の総合的研究」研究分担者
- \* 科学研究費補助金（基盤研究(S)）「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」研究協力者

## 4. 教 育

### (1) 講義

- \* 「政策過程論」(2単位、春学期) 政策過程に関する基本的な理論と枠組みについて概観するとともに、日本の具体的な事例を交えつつ、政策過程を観察することによって得られる知見の例を紹介し、政策過程の基本的な構造を解説した。
- \* 「社会科学方法論(質的分析)」(2単位、秋学期) 博士課程レベルの研究に必要な方法論的な基礎知識のうち質的分析に関わる議論を、自然科学の方法論の応用として考える立場と、それを批判する立場の双方を紹介することで解説し、あわせて研究手法にわたる問題を広く扱った。

### (2) 演習

- \* 「事例研究方法論」(2単位、夏学期) 政策プロフェッショナル・プログラムの学生を主たる対象として、事例研究を用いた博士論文の作成方法について、博士論文をもとにした著作など具体例を示しつつ説明した。
- \* 「政策事例研究特別演習」(単位外、政策プロフェッショナル・プログラム必修、通年) 政策プロフェッショナル・プログラムの学生に対して、論文執筆の状況を確認し、定期的な発表の機会を与えるため毎月1回週末に開催して、必要な指導をおこなっている。

### (3) 論文指導

- \* 政策プロフェッショナル・プログラム(博士課程)に所属する14名の学生を指導(主指導13名、副指導1名)し、うち3名が博士(政策研究)の学位を取得した。
- \* また、論文博士に関して、1名の主査となり、学位を授与した。

### (4) 研修事業

- \* (研修における講演)「東日本大震災と復興計画」中国共産党中央党校訪日短期研修、2012年1月13日

## 5. 管理・運営への関与

### (1) 委員会

- \* 研究教育評議会
- \* 博士課程委員会
- \* 政策プロフェッショナル・プログラム(博士課程)・コミティー
- \* 公共政策プログラム・コミティー

### (2) その他

- \* 政策プロフェッショナル・プログラム(博士課程)・ディレクター
- \* 公共政策プログラム・副ディレクター
- \* 2001年行政改革の検証プロジェクト・リーダー

## 6. 社会的貢献(A)

### (1) 他大学・研究所等における活動

非常勤講師

- \* 東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム(EMP)第6期「統治構造の転換と日本政治の可能性」、2011年11月18日
- \* 東京大学先端科学技術研究センター「政治史学の領分」(御厨貴教授)第3回「公共政策」にゲストとして講義、2011年11月19日

### (2) 学会等における活動

- \* 日本公共政策学会・理事
- (3) 審議会等における活動
  - \* 東日本大震災復興構想会議専門委員(検討部会長)(2012年2月まで)
  - \* 復興推進委員(2012年2月から)
  - \* 内閣府・参与(2011年8月まで)
  - \* 国土交通省・社会資本整備審議会委員
  - \* (参考人出席)衆議院財務金融委員会、2011年7月27日
- (4) その他
  - \* 新しい日本をつくる国民会議(21世紀臨調)主査

## 7. 社会的貢献(B)

- (1) ジャーナリズムでの発言
  - ① 活字メディア
    - \* (講演録)飯尾潤「日本政治の行方」『岐阜県経済同友会会報』305号、2-40頁、2011年4月
    - \* (アンケート回答)飯尾潤「国際情勢と日本外交の課題」『国際問題』(日本国際問題研究所)600号、28頁、2011年4月
    - \* (インタビュー)飯尾潤「復興税『選択肢示す』」時事ドットコム 2011年4月24日
    - \* (時事小論)飯尾潤「(復興を問う)先を見据えた議論必要」『読売新聞』2011年5月4日朝刊4面
    - \* (インタビュー)飯尾潤「検討部会が描く復興支援とは? : 発想変え被災地元気に」『毎日新聞』2011年5月14日、朝刊12面
    - \* (講演録)飯尾潤「危機における政治と日本の将来」『経済倶楽部講演録』(東洋経済新報社)748号、48-91頁、2011年6月
    - \* (時事小論)飯尾潤「嫌いな首相でも話し合え」『朝日新聞』2011年7月9日朝刊13面
    - \* (評論)飯尾潤「市町村主体の復興:『人と人つなぐ人材』必要」(共同通信全国配信『現論』)『熊本日日新聞』2011年7月16日朝刊5面など全国各紙で掲載
    - \* (発言引用)「『水産特区』構想どうなる漁業権」『日本経済新聞』2011年7月18日朝刊16面
    - \* (発言引用)“Ignoring lessons from history proves deadly” *znherald.com*, 2011年8月6日
    - \* (インタビュー)飯尾潤『(新首相へ注文)チームワーク重視を:民主党は出直し必要』『朝日新聞』2011年8月18日朝刊4面
    - \* (解説)飯尾潤「市町村中心の震災復興へ向けて」『市政』(全国市長会)、2011年8月号、16-18頁
    - \* (発言引用)“METI faces reform in energy policy revamp” *THE JAPAN TIMES*, 2011年8月29日2面
    - \* (紙上座談会)田中秀征・飯尾潤・藤沢久美「新政権の課題とは」『東京新聞』2011年8月30日朝刊6面
    - \* (評論)飯尾潤「野田新政権に臨む:日本政治機能回復を」(共同通信配信)『信濃毎日新聞』2011年8月31日朝刊4面など全国各紙で掲載。
    - \* (発言引用)“METI reform key for Japan to create reliable energy policy” *The Mainichi*

Daily News, 2011 年 8 月 31 日

- \* (インタビュー)飯尾潤「復興と世界経済に即応せよ：新政権、チームプレーで対処を」『週報-Weekly』(共同通信)2011 年 9 月 5 日号、4-5 頁
- \* (評論)飯尾潤「『思考停止』の国会から脱却する方途。」『潮』2011 年 10 月号、62-67 頁
- \* (誌上座談会) 橋本五郎・星浩・飯尾潤「なぜ、『政権構想』はここまで空虚になったのか」『中央公論』2011 年 10 月号、20-28 頁
- \* (世論調査へのコメント)飯尾潤「政権は政策課題の『仕分け』を」『毎日新聞』2011 年 9 月 20 日朝刊 10 面
- \* (新聞記事再録)飯尾潤「嫌いな首相でも話し合え」朝日新聞オピニオン編集部編『3・11 後 ニッポンの論点』朝日新聞出版、2011 年 9 月
- \* (講演要旨)飯尾潤「野田政権年内しのげば安定」『山形新聞』2011 年 10 月 5 日朝刊 2 面
- \* (評論)飯尾潤「自己改革の努力と戦略なしに政権復帰への道は開けない」(野党はどうあるべきか)『朝日ジャーナル：政治の未来図』(『週刊朝日』緊急増刊)32-34 頁、2011 年 10 月
- \* (発言引用)「民主の政策決定市場の『信認』は？」『日本経済新聞』2011 年 10 月 13 日朝刊 6 面
- \* (講演要旨)飯尾潤「野田首相は調整型ではない」『信濃毎日新聞』2011 年 11 月 8 日朝刊 4 面
- \* (講演要旨)飯尾潤「地元の計画大事」『河北新報』2011 年 11 月 10 日
- \* (講演要旨)飯尾潤「政策全体の見直しを」『神戸新聞』2011 年 11 月 12 日朝刊 23 面(北播地域版)
- \* (評論)飯尾潤「危うい不透明感の放置：野田首相の政策決定手法」(共同通信配信『現論』)『沖縄タイムス』2011 年 11 月 18 日朝刊 7 面など全国各紙で掲載
- \* (解説)飯尾潤「野田政権は『政府与党一元化』の原点に立ち、党内調整に汗をかけ」『WEDGE Infinity』2011 年 11 月 24 日号
- \* (解説)飯尾潤「『政府与党一元化』の原点に立ち党内調整に汗をかけ」『WEDGE』2011 年 12 月号、52-54 頁
- \* (小論)飯尾潤「ヒーロー個人への期待か」『朝日新聞』2011 年 11 月 28 日朝刊 38 面
- \* (講演要旨)飯尾潤「野田政権と日本政治の行方」『四國新聞』2012 年 2 月 17 日朝刊 4 面、18 日朝刊 4 面
- \* (インタビュー)飯尾潤「本格復興：課題と展望」『公明新聞』2012 年 2 月 18 日 3 面
- \* (評論)飯尾潤「東日本大震災 1 年：時間かかる復興事業被災者の選択見守る」(共同通信配信)『岩手日報』2012 年 3 月 12 日朝刊など各紙が掲載
- \* (講演録)飯尾潤「野田新政権、政治の再生はなるか」『日本工業倶楽部第 1374 回木曜講演会要旨』全 45 頁、2012 年 1 月
- \* (解説)飯尾潤「東日本大震災から 1 年：復興事業の本格化と創造性」『CEL』2012 年 3 月号、88-89 頁。

## ② 電波メディア

- \* (生放送)「検討部会長に聞く めざす提言とは」朝日ニュースター「ニュースの深

- 層」、2011年4月28日20:00-20:55
- \* (生放送)「復興について」日経 CNBC「NEWS ZONE」、2011年5月10日21:30-22:08
  - \* (生放送)「橋下徹大阪府知事2時間:大阪から日本が変わる!？」BSフジ「PRIME NEWS」、2011年8月25日20:00-21:55
  - \* (生放送)「民主党代表選 次期総理に求めるもの」朝日ニュースター「ニュースの深層」、2011年8月26日20:00-20:55
  - \* (生放送)「11.9.2 組閣特番」TBS ニュースバード(CS)、2011年9月2日11:00-11:25
  - \* (電話出演)「新内閣について」NHK ラジオ「NHK ジャーナル」、2011年9月5日22:20 ごろ
  - \* (生放送)「政党の意思決定はどのようにして行われるのか」J-WAVE (FM ラジオ)「JAM THE WORLD」、2011年9月27日20:55-21:20
  - \* (生放送)「ことしを読む!2012年野田政権の行方」BSフジ「PRIME NEWS」、2012年1月4日20:00-21:55
  - \* (生放送)「選挙制度改革」J-WAVE(FM ラジオ)「JAM THE WORLD」、2012年2月7日20:55-21:20
  - \* (電話出演)「復興庁について」TBS ラジオ「土曜朝イチエンタ。堀尾正明+PLUS!」、2012年2月11日
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- \* この間、40数回の講演会、座談会等を行った。